

資料編

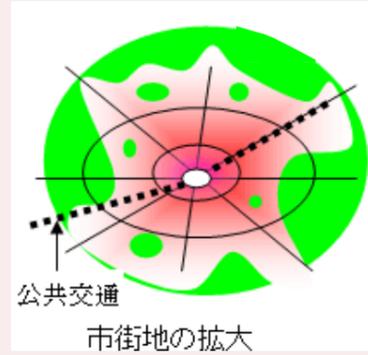
コンパクトシティのまちづくりの考え方

・・・都市機能や居住地の集約、公共交通の利便性向上、魅力的な都市拠点の形成などを一体的に行っていく考え方

低密度に分散した市街地（これまでの都市）

- ・ 広く薄く居住地が分布していると、買い物施設や病院、公共施設なども広く分布します。
 - ・ 公共交通（鉄道やバス路線など）も広くサービスを提供しなければならないため、運行本数が少なくなってしまいます。
 - ・ つまり、自動車に依存して暮らしていかなければなりません。
- ⇒広く薄い都市は非効率で持続可能ではない！

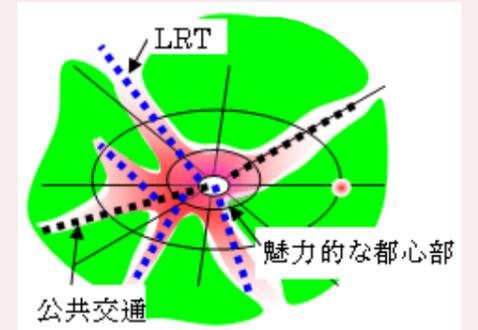
広く薄く非効率・不便



コンパクトな市街地（これからの都市）

- ・ 公共沿線などにコンパクトに居住地が集中すると、買い物施設や病院、公共施設などもコンパクトに分布します。
 - ・ 公共交通の運行本数を増やせる等、利用者にとっても便利です。
 - ・ つまり、自動車に依存しなくても、公共交通や徒歩、自転車等で暮らせる都市になります。
- ⇒コンパクトシティは効率的で持続可能！

コンパクトで効率的・便利



※図の出典：国交省 HP (http://www.mlit.go.jp/kokudokeikaku/iten/service/newsletter/i_02_68_1.html) をベースに加筆



コンパクトシティのイメージ図

岡山市・総社市の方面軸とエリア区分

-  JR (在来線)
-  新幹線
-  一般国道
-  高速道路
-  市役所

